

令和6年度（2024年度）第2回熊本市教科用図書選定委員会

議事録

委員長	<p>議案 中学校教科書採択について協議します。</p> <p>本日は、音楽（一般）、音楽（器楽合奏）、保健体育、社会（歴史的分野）の4種目の教科書についての報告を受け、協議します。</p> <p>それでは、「音楽（一般）」について、調査・研究結果の報告からお願いします。</p>
研究記録員	<p>《音楽（一般） 調査・研究結果の報告》</p>
委員長	<p>続いて、教科書展示会の意見・感想について報告をお願いします。</p>
副所長	<p>《教科書展示会意見・感想報告》</p>
委員長	<p>それでは、質問及び協議に入ります。</p> <p>質問・意見があったらどうぞ出してください。</p>
委員	<p>観点2の②「主体的な学び」というところで、もう少し詳しく説明をお願いしますか。</p>
研究員代表	<p>グラフがあまり伸びていないのは、先ほど指導主事からも報告がありましたが、ここ3年、4年コロナ禍によって歌唱や器楽が思うようにできていないというところが関連していると思います。マスクを取って歌うなどの活動が去年ぐらいから始まっているので、これからグラフが良い方向へ伸びていくと思っています。</p> <p>同じ教材で比べてご説明しようと思います。</p> <p>教育出版2、3年上40頁の交響曲第5番でご説明します。教育芸術社の方は38頁です。</p> <p>一番有名なジャジャジャジャーというモチーフが100回ぐらい違う形で出てきますが、どちらの教科書も視覚的にもよくつくられています。この教科書の左端には目標が書いてあります。両方とも目標が書いてあります。そしてこの曲のタイトルの下には活動例が書いてあります。</p> <p>差が出ているのは、教育出版はそこまでしか書いてありませんが、教育芸術社はベートーヴェン作曲の横に四角形の枠が書いてあります。そこが違う点です。この枠は考えたいポイントで、これがあることで問いかけにより生徒が課題意識を持って主体的に取り組むことができると我々は考えました。さらに見方、考え方を働かせ、深い学びにもつながるポイントになると思います。</p> <p>教科書は子供たちの実態に合わせて選定しますが、本市の先生方、若い先生方がとても増えているところがあります。その若い先生方にも、この四角囲みの中、「交響曲第5番ハ短調のよさや美しさは音楽のどのようなところから感じられるのだろう」というポイントで、授業される先生方のヒントにもなるのではないかと考えました。この点が違うところです。</p> <p>そして次の頁を開けてください。</p> <p>教育出版が42頁、43頁です。教育芸術社が43頁になります。教育出版がアクティブ、教育芸術社が学びのコンパスというコーナーがあります。一見、</p>

<p>委員長</p>	<p>大差ないようですが、教育出版はとにかく大きい枠でつくられています。先ほど説明もしましたが、2 楽章、3 楽章、4 楽章を通して変形されて現れるリズムを聴き取って、感じ取ったことをまとめようという構成です。対して教育芸術社 42 頁は表に書こう、確認しよう、話し合おうと、とても丁寧なスモールステップで進められていきます。また、意見を交換しよう対話を促してもいます。さらにイラストも提示部と比べて他の部分はどうな特徴があるかなど、とても丁寧な説明があり、なおかつ 1 楽章に絞ってあるため、子供たちが理解しやすいようにつくられていると我々は見えています。教芸の方が丁寧につくってあるところですよ。</p> <p>2 社しか音楽はないので、AかBかで比べるとよく分かれると思います。以上です。</p>
<p>委員</p>	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>他に何かありませんか。</p>
<p>委員長</p>	<p>シンプルな疑問ですが、今のご説明を聞いて、教育芸術社の 42 頁、43 頁の学びのコンパスのところ聴き取ったことと感じ取ったことを書くところがありますが、子供たちはこの聴き取ったことというのは旋律の違いを聴き取って書くのでしょうか。音楽をやっていない子は一体どんなことができるんだろうと思いました。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>各教科には見方、考え方というのがあって、音楽に対する感性を働かせて音や音楽、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えるものです。リズムに着目してごらんとか、旋律はどうだったかなとか、そんな感じで教師の方が子供たちに焦点化して説明すると、大丈夫だと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>委員、今のお答えでよろしいですか？他に質問はありませんか。</p> <p>それでは、私から 1 点確認したいと思います。事前に配布された資料の「令和 7 年度使用中学校教科用図書 調査ポイント等」のなかの「(2)の①と②」の箇所、「ICT 機器やデジタル教材等を活用しやすい工夫がなされているか」という赤字記述があります。その観点は、今回の調査の重要ポイントになっていますが、この点に関してはどうですか。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>ICT の活用については、創作の授業でガレージバンドや教科書のアプリや教育センターのアプリなどを使って実施されている事例があります。他にも自分の歌唱や演奏を音や動画で記録するなど、範唱、範奏の音源・動画を見ながら歌ったり、楽器を演奏したりする、歌詞や楽譜等をスクリーンに投影するなど活用の事例があります。</p>
<p>委員長</p>	<p>今回の調査では、ICT の活用に関して、各社ごとに違いは見られなかったのですか。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>二次元コードの総コンテンツが教育出版 35、教育芸術社 121 のコンテンツがあります。今回、教育芸術社の方がとても力を入れていて、今まで CD でパート練習や全体練習をしていましたが、二次元コードを読み込むことによって、自分のタブレットでパートの練習ができ、伴奏と歌うことができるようになっていきます。自宅で二次元コードを読み込み、自分で練習する子がいるかどうかは分かりませんが、やろうと思えば可能になっています。</p>

委員長	<p>他にご意見はありますか。 調査の報告、ありがとうございました。 研究員の方はご退出をお願いします。 まとめをします。各社、それぞれに特色がありますが、調査報告の内容は妥当であるということによろしいですか。 これで音楽（一般）の教科用図書について、協議を終了します。</p>
委員長	<p>それでは、「音楽（器楽合奏）」について、調査・研究結果の報告からお願いします。</p>
研究記録員	<p>《音楽（器楽合奏） 調査・研究結果の報告》</p>
委員長	<p>続いて、教科書展示会の意見・感想について報告をお願いします。</p>
副所長	<p>《教科書展示会意見・感想報告》</p>
委員長	<p>それでは、質問及び協議に入ります。 質問・意見があればどうぞ出してください。いかがでしょうか。 お願いします。</p>
委員	<p>観点2の②③で教育芸術社が◎となっているというところで教育出版との違いを感じますが、どのようなところが違ったか少しお話しただければありがたいです。</p>
研究員代表	<p>座ったまま失礼します。 観点2の②③についてですが、まず、作曲者の思いに触れるコーナーなど学習の手がかりとなるようなメッセージが掲載されており、非常に生徒たちの興味を引く掲載の仕方がとても充実しているというところにあります。 また、進んで学び合うための活動例、その観点でも非常に充実しています。学び合い、対話形式であったり、話し合い活動であったり、そういうものに非常に入りやすい工夫がなされています。特に自己の考えを広げ、深めていく対話的な学びという面では、非常にこの仕掛けがよいと捉えています。特に言語活動を充実させるためのヒントが、非常に取りかかりやすいという入口の入りやすさがあります。 以上です。</p>
委員長	<p>他にご質問やご意見はないでしょうか。</p>
委員	<p>純粋な質問ですが、二次元コードがいっぱいついていますよね。子供たちはその二次元コードをどれくらい活用しているのか、器楽だと8時間の授業の中で二次元コードを使った授業は、どれくらいなのか。例えば授業中に使えなかったら子供たちに、こういうふうに使ったらいいよと伝えられているのかなど。</p>
研究員代表	<p>それでは、二次元コードですが、実際の楽器の音が聴けるというメリットがあります。特に今回の教科書の改訂については非常に工夫がなされていて、ただ模範演奏を聴くだけではなく、伴奏が流れます。普通は模範演奏が流れ</p>

	<p>ます。タブレット等を使って、自分の楽器の演奏をピアノの伴奏にのせることができます。これは授業中に活用もできますが、自ら進んで家に持ち帰り、もう一度学んだことをやってみよう、合わせてみようという魅力的な活動につながる工夫がこの二次元コードにはあります。そのように自発的な意欲を持って取り組む仕掛けがなされています。</p> <p>以上です。</p>
委員長	<p>他にご意見はないでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>調査の報告、ありがとうございます。</p> <p>研究員の方はご退出をお願いします。</p> <p>まとめをします。各社、それぞれに特色があるが、調査報告の内容は妥当であるということによろしいですか。</p> <p>これで音楽（器楽合奏）の教科用図書について、協議を終了します。</p>
委員長	<p>それでは、「保健体育」について、調査・研究結果の報告からお願いします。</p>
研究記録員	<p>《保健体育 調査・研究結果の報告》</p>
委員長	<p>続いて、教科書展示会の意見・感想について報告をお願いします。</p>
副所長	<p>《教科書展示会意見・感想報告》</p>
委員長	<p>それでは、質問及び協議に入ります。</p> <p>質問・意見があったらどうぞ出してください。</p>
委員	<p>1点質問ですが、観点8の人権教育の下のところで大修館と学研、2社がとても工夫されているというふうについていますが、保健体育の授業では自分自身のこと、体のこと、心のことなどを取り扱うこと、性の多様性などのこともあるので、この◎になっている具体例あたりを教えていただければと思います。</p> <p>以上です。</p>
研究員代表	<p>人権教育ということだから、いろいろな視点があるかと思いますが、最近話題になっている性的マイノリティーの問題について調べています。</p> <p>東京書籍では51頁の章末資料において性の多様性が設けられています。いわゆる体の性、心の性、性自認、好きになる性、性的指向、それから社会的な性、性表現と、この観点でイラストを活用した説明がされており、SOGIという言葉が出てきていますが、その言葉も使われています。</p> <p>それから二つ目に大日本については、38頁のトピックスにおいて個性や能力を大切にすることが書かれていますが、ここについてはLGBTQとか、SOGIとかいう文言はありませんでした。</p> <p>それから大修館においては、特集資料として性についての固定的な考え方に気付こうと。</p>
委員	<p>何頁。</p>
研究員代表	<p>大修館は43頁です。特集資料として性についての固定的な考え方に気付こうと、2頁にわたってまとめてあります。こちらは体の性、心の性、好き</p>

<p>委員長</p>	<p>になる性、表現する性ということはもちろんですが、性的マイノリティーの人たちが抱える不安や悩みについてもまとめてあり、多様性の中で学ぶことの重要性がよく分かる資料となっていると判断をしました。</p> <p>それから学研においては、66 頁、探究しようよというところで、これは半頁になりますが、性の多様性についてまとめられています。体の性、心の性、関心を持つ性についての説明がなされ、これには LGBT や SOGI といった文言の説明も書かれていました。</p> <p>人権教育ですからそれ以外のところもありますが、その 1 点について、性的マイノリティーのことについてお話をしましたが、その観点においてもこの二つがよくできていると判断をしたところです。</p> <p>以上です。</p> <p>他にご意見はないでしょうか。</p> <p>それでは、私から 1 点確認です。先ほどの質問と同じですが、今回の全体説明の箇所に ICT 等のデジタルに関する調査結果（数字）が出ていたのですが、今回の選定のポイントである「観点 2 の①と③」の箇所も、事前配布の資料である「令和 7 年度使用中学校教科用図書 調査ポイント等」のなかで「選定の重要ポイント」として赤字で、「ICT 機器やデジタル教材等を活用しやすい工夫がなされているか」と記述されています。その点に関しては、各社違いはあったのでしょうか。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>二次元コードでたくさんのコンテンツが上がっています。よくまとめてあるものについては、動画を大変使っているところがあって、非常に工夫され、随分、東書がそれについてはよかったという感想を持った次第です。</p>
<p>委員長</p>	<p>そうですか。</p> <p>ただ、今の説明は、今回の重点的なポイントに関して、全体的な ICT 活用の説明ですね。私が気になったのは、せっかく今回調査のポイントとして赤字で書かれているので、もう少し研究員の記述にそれに対する調査結果の記述があればより分かりやすかったと思うんですね。ただ今回は、東書がそこも含めて最も充実しているということによろしいのですか。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>動画については東書が一番よかったのかなというふうに思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>他にはないでしょうか</p> <p>保護者委員の方々、どうですか。ありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>さっきの話の確認ですが、人権教育のところでは○と◎で、大修館と学研に◎がついていて、東書と大日本の方には○が付いていたと思いますが、その例として性的マイノリティーについての記述というところでご説明いただきました。大修館がかなり一歩踏み込んだ形で、かなり細かく解説しているというのは何となく分かります。大日本が確かにあまり記述がないなのを各社見て分かりますが、学研と東書で○と◎の差がついているのがよく分からないなど、報告書にある性的マイノリティー以外の部分もかなり見ました。それでも学研と東書の違いがよく分からないなどというところで、今、東書を使っている、◎の数からいくと東書と大修館、そして学研がかなり近いところに並んでいるので、この辺の差をもう少し確認はしておきたいなと思います。人権教育のところでは学研と東書の差がついているのは具体的にどう</p>

<p>研究員代表</p>	<p>いうところなのかということをもう少しご説明いただくとありがたいですが、よろしいですか。</p> <p>もちろん人権教育のところは、マイノリティーのところだけで判断したわけではなくて、UDの視点だとか、バリアフリーの視点も入れています。それからこのコロナの誹謗中傷について、学研の153頁、右下の資料6。偏見や差別をなくすためにというようなところを判断してそういった差をつけているところでは。</p> <p>大修館についても、同じように157頁、これも右下のところにあります。不安や恐怖から生まれる差別やデマに注意というように見出しで、コロナの差別というところを出しています。そういったところを総合的に判断したところでは。</p>
<p>委員</p>	<p>分かりました。</p> <p>ユニバーサルデザインとかバリアフリーだとかの記述、今のコロナのときのいわゆる差別の話も記事として紹介されているというレベルのものなので、大修館が一步踏み込んだ形で書いてあるというのは当然私も分かりますが、内容的に。しかし、学研と東書でそこまでその違いがどうも見えにくいと思います。その記事に、偏見に関して、その記事も資料6という形でホームページの画像が載っているだけなので、これが授業中どう扱われるかあるいは子供たちがどうこれを見て理解するのかまで考えると、そこまで差がつくものではないかと。他の箇所もいろいろあるとは思いますが、明らかに大修館の方が◎がついていて、学研も◎が同じくついているところに逆に違和感があるような気もしています。大修館がもう一步抜けていたら、そのあたり根拠をもう少し明確にさせていただくとよかったと思って確認させていただきました。この内容で問題があるということではありません。</p>
<p>委員長</p>	<p>他にご意見はないでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、調査の報告、ありがとうございます。</p> <p>研究員の方はご退出をお願いします。</p> <p>まとめをします。各社、それぞれに特色があるが、調査報告の内容は妥当であるということでもよろしいですか。</p> <p>これで保健体育の教科用図書について、協議を終了します。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、「社会（歴史的分野）」について、調査・研究結果の報告からお願いします。</p>
<p>研究記録員</p>	<p>《社会（歴史的分野） 調査・研究結果の報告》</p>
<p>委員長</p>	<p>続いて、教科書展示会の意見・感想について報告をお願いします。</p>
<p>副所長</p>	<p>《教科書展示会意見・感想報告》</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、質問及び協議に入ります。</p> <p>質問・意見があればどうぞ出してください。</p>
<p>委員長</p>	<p>今回は教科書数が多いですが、しっかりと協議したいと思います。</p> <p>私から一つ質問させてください、今回の重視する観点についてはよくまと</p>

	<p>められて分かりましたが、特に歴史なので、調査のポイントの観点7「伝統と文化」のところの熊本城を代表とした本市にまつわる事象や史実について各社違いがあったのですか。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>調査員の方が対応しているので述べさせていただきます。</p>
<p>研究記録員</p>	<p>観点7については、各社いろいろと載っていますけれども、先ほどの発表の中であった主に3社です。とても数多く取り上げられているというところがあります。それぞれ教科書会社によって取り上げられているものは違ってはいますが、本県の内容は取り上げられているものが多いということです。</p>
<p>委員長</p>	<p>最後の調査結果の観点7の箇所ですね。東書と令和が◎になっていますが、この二つは突出したものがあったのですか。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>観点7については、特に領土問題に関する特設頁が設けられています。教育課程を考慮して各学年で学習できます。簡単にいうと歴史の授業の歴史の流れとともに教えられていくというところが大きく違います。</p>
<p>委員長</p>	<p>そのような意味で、◎と○の違いがあるということですか。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>そうです。時代に即して教育課程でいくと明治のところで領土に関する条約等が結ばれます。そこが2年生の学習になりますので、この二つ以外のところは現代、国際のところで特設頁が設けられていて、公民の学習になりますが、これが3年生の学習になるので、2年生の方では特設頁がないというふうに。</p>
<p>委員長</p>	<p>分かりました。他にはありませんか。委員の方々、意見をお出してください。</p>
<p>委員</p>	<p>上から4つ目の深い学びのところは、東書以外は○なんですけど、例えば日文の説明いただいた付箋紙3のところで見ると、整理の仕方、見方、考え方なども表現してあり、思考、判断、表現とかも明記してあるのが非常に類似した形です。おそらく先ほど説明いただいた流れで言えば、ちょっとマイナス点があるからというところが主だったんじゃないかとは思いますが、プラス点というところではほぼ似たような感じの表記もあったりしますが、他の単元末、このご説明いただいた付箋紙3以外の単元末でも同じような傾向があったのかどうかをお聞かせいただければと思います。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>基本的にはどの章においても各社同じようなまとめ活動になっています。</p>
<p>委員長</p>	<p>他にありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>観点4のところは先ほど全社◎がついていると思いましたが、観点4の勤労観、職業観を育むための工夫というところで、具体的にどういう基準で全社◎になったかということだけご説明いただければと思いますが、いかがですか。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>どの教科書も様々な職業、そして人物が扱われています。同じようなもの</p>

<p>委員</p>	<p>もあれば、各社それぞれ選ばれている職業あるいは人物は異なっていますけれども、どの教科書も中学生として学習するのに適した職業観、勤労観を育む工夫は満たしていると判断をしました。</p> <p>では、全社○でもよかった。つまりあえて◎と○というところで、基準というか、いわゆるポイントをどうつくるかの問題だと思うので、どこも特筆すべき事項がなかった、どこも横並びだったということであれば○、逆に全社○でもいいのかなと。だから◎にした意味がよく分かりません。もちろん検定に通っているわけですから、教科書として適切であるということはまずそれが大前提で、それで他のところの◎はさらに工夫がなされていて、本市の子供たちにとって学びやすいものになっているという意味で◎になっていると思います。今の話だとこのところだけ、大体どこも似たようなものだったからと全部◎というのは、基準としてどうなのかなと思ったわけですが。</p> <p>大体他に差がつきようがないというのも分かります。歴史の教科書で勤労観と職業観というの、なかなか差をつけるのも難しいと思いますが、どんなものなのかと。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>おっしゃるとおりで、基準をつけようと大分研究員代表でも話をしましたが、各社、やはり子供の発達段階ですとか、例えば熊本県が示しているような基準を考えてもなかなかこの会社の方がいいと私たちが内容を一つ一つ見て判断するのは非常に難しいというところがあって、その中で優劣をつけようがありません。その中身のことを調査するには、どうしても時間、その内容の検討は十分必要かなと思いました。それを一律にするときに○とするか、◎にするかというところで、私たちとしては◎というところで大差ないだろうと。基準に照らすと大差はないだろうというところでは。</p>
<p>委員長</p>	<p>他にご意見はありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>観点8の人権というところで、3社が◎で、あとのところが○になっているので、この◎とされたのには何か意味があったと思いますが、その辺の違いを少し教えていただけますか。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>◎、○というところで、特に琉球王国とかアイヌ民族の生活、文化について本文中でどれだけ扱っているか、そして特設頁を設けて扱って授業の中で取り入れて説明をするというところ、さらに人権の課題を数多くどこも取り入れています、基準として6つ以上の項目を取り上げているというところを一つの基準としました。</p> <p>他にも部落差別の取扱いとか、そういったところも検討したところでは。</p>
<p>委員長</p>	<p>他の委員の方々、どうでしょうか。</p> <p>最後に、もう一度各社ごとの表のICT等の充実度の箇所を見せてください。</p> <p>多いのは、東京書籍と日本文教出版で、ないのは自由社と学び舎ですか。</p> <p>ただ、ICT等の活用に関しては、去年の小学校教科用図書選定の際にも、ただ数だけではなく、充実度が重要だというご説明がありましたが、今回は東書と日本文教出版が非常にその数も多いけれども、充実しているというふうに解釈してよろしいですか。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>そのように捉えていいかと思います。</p>

<p>委員長</p>	<p>2社の特徴は数もですが、まず場所。各授業のところの一定したところに二次元コードがついているので、子供たちはすぐ探しやすいということが二つの教科書会社の特徴です。その中でも日本文教出版の場合は、そこで読み取ると、その学習頁の内容のところへすぐ行けるという、さらによさがあるというところで、他の教科書会社に比べてもかなりこれは子供たちの補充学習というか、一人学びに大変有効であろうということで◎のラインをそこで引いています。</p> <p>東京書籍の場合、場所は多いですが、読み取るとその章の目次の頁に飛んで、少し学習のところまで幾つかボタンを押して行って届くというような形になっています。</p> <p>というところで、かなり二つ、それと帝国書院も数としては多かったので、その三つがベースとなって、その中でもさらに日本文教出版はかなり有効だろうということで評価に表れるように出したということです。</p> <p>他にご意見はありませんか。よろしいでしょうか。</p> <p>調査の報告、ありがとうございました。</p> <p>研究員の方はご退出をお願いします。</p> <p>まとめをします。各社、それぞれに特色がありますが、調査報告の内容は妥当であるということでよろしいですか。</p> <p>これで社会（歴史的分野）の教科用図書について、協議を終了します。</p>
------------	--